



 <p>徳育科のパイオニア コミュニティ・スクール</p> <h1>八小だより</h1> <p>武蔵村山市立第八小学校 平成28年10月4日</p> <p><a href="http://www.city.musashimurayama.lg.jp/school/mmced8s/index.html">http://www.city.musashimurayama.lg.jp/school/mmced8s/index.html</a></p>	<p>教育目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 考える子</li> <li>○ 思いやりのある子</li> <li>○ やりとげる子</li> </ul>
	<p>行動目標</p> <p>わけをそえて話すことができる子                  教室で話しているのは一人</p>

## 子供たちの発表力・表現力を育む

校長 牧 一彦

10月に入りました。本校でも金木犀の香りを楽しめる時季を迎えました。暑くもなく寒くもないこのさわやかな気候が、子供たちの気持ちを前向きにしてくれます。運動にも、学習や読書にも、すすんで取り組む子供たちの姿を見てとてもうれしく思います。

先月24日(土)、「8Pまつり」(八小PTAによるお祭り)が行われました。午後からはあいにくの雨により時間短縮が余儀なくされましたが、多くの保護者・地域の皆様の御尽力により、大盛会となりました。今年のPTA運営委員会は例年以上に委員さんの出席率が高く、どの学年委員さんも専門委員さんも、前向きに取り組んでくださっていると日頃から感心していたところですが、その成果がこの8Pまつりでも如何なく発揮され、まつりを楽しむ子供たちの多くの笑顔を見ることができました。本校PTA会長の井上昭三様、同学校運営協議会会長の有馬光彦様をはじめ、このまつりに関わったすべての保護者・地域の皆様に心より感謝申し上げます。



この8Pまつりのオープニングでは、子供たちの舞台発表を行いました。最初は本校の看板である「ハーモニッククラブ」。この4月から男子も数名加入し、よりパワーアップしただけでなく、安定した演奏に磨きがかかってきました。毎年進化を続けています。2番手は今年初参加の「フォークダンスクラブ」。本校のふれっチャ創設の頃から、地域の後藤勝子先生が中心となって指導に当たってくださっています。演目はフィリピンやタイの民族舞踊であるバンブーダンス。子供たちは2本の縄跳びを巧みなステップでかわしながら見事に踊っていました。3番手は「ダンスクラブ」。10年前には決して見ることのなかったヒップホップ系のダンスを披露しました。恥ずかしがらずに、堂々とした態度での発表が印象的でした。そして取り(とり)は、ハーモニーと同様にすでに常連になっている「バトンクラブ」。数年前から「ポンポン部隊」が独立しより演技に華やかさが加わりました。本校保護者の森本陽子さん、カー悠里子さんの指導の下、年々実力をつけ、ジャンプアップした見事な演技を笑顔で披露してくれました。



これらの発表の中での子供たちの姿を見て、私が着任した6年前からの大きな変化を感じました。かつての八小の子供たちと比較して、発表力・表現力が大きく伸びているように思うのです。人の前に立って話をしたり、踊ったり、演じたりするには、相当な度胸と自信が必要です。それぞれのクラブでは、この発表に耐えうるだけの実力をつけるべく練習を重ねてきたのだと思います。しかし、それだけでそのような演技ができたとは思いません。私は、日頃の授業の中で培われてきた発表力や表現力が、この原動力になっていると信じています。本校では、学校便り5月号でお伝えしたとおり「八小授業スタンダード」に基づく授業を推進しています。児童全員が「自分の考えをもち」、「それをみんなに発表・説明し」、「よりよい考えを求めていく」そんな授業づくりを目指し、一人一人の考える力を高めると同時に、発表力・表現力を高める取り組みを実践しています。



今月17日から学校公開週間が始まります。子供たちの真剣に授業に取り組む姿を、また「発表力・表現力」を高めるための日々の授業を、ぜひご覧ください。